

令和6年度学校経営計画表

1 学校の現況

学校番号	特 4		学校名	県立常陸太田特別支援学校										学校長名	齋藤 正			
教頭名	平 知己						教頭名	大島 聖子						事務(室)長名	堀 昭則			
教職員数	教諭	82	養護教諭	2	常勤講師	8	非常勤講師	5	実習助手	2	寄宿舎指導員	0	事務職員	3	技術職員等	8	計	111
幼児・児童・生徒数	部	1年(3歳児)		2年(4歳児)		3年(5歳児)		4年		5年		6年		合計		合計 クラス数		
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女			
	幼稚部	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/		
	小学部	10	3	8	4	8	4	3	1	12	4	24	4	65	20	19		
	中学部	20	3	12	4	10	6							42	13	14		
	高等部	14	10	16	5	13	7							43	22	12		
	専攻科	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/		
													計	150	55	45		

2 目指す学校像

- ◆一人一人の学びを大切にする学校
- ◆家庭や地域と共に歩む学校
- ◆地域の特別支援教育の推進に貢献できる学校

3 現状分析と課題（数量的な分析を含む）

項 目	現 状 分 析	課 題
学校経営	<ul style="list-style-type: none"> ・危機管理マニュアルに沿って避難訓練、シェイクアウト訓練、引き渡し訓練等を行い、熱中症対策ガイドラインの徹底を図り、安心安全な学校運営を行っている。 ・社会自立を目指し、地域や保護者と連携した「OTA キャリア教育プラン」の各部間の系統性、内容について検討し、取り組んでいる。 ・各部・校務分掌部で業務改善に取り組む。働きやすさについて課題意識をもち、相談し合える環境や、休暇取得しやすくサポートし合える体制を構築している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・危機管理マニュアルの見直しと職員の危機管理の対する意識の向上を図る。 ・通域と連携したに関する地域と連携した防災訓練の実施。 ・地域と連携した体験学習について、内容について検討・改善。 ・各部での行事、各部・校務分掌部で業務内容の見直し、効率化を図る。
学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ・教育課程の改善に取り組み、小学部で「生活」、中高等部で「社会・理科」を位置づけた。 ・外部専門家の指導助言を参考に授業改善に取り組み、個に応じた授業づくりに努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個に応じた各教科の授業づくりの充実を図り、年間指導計画の指導計画等を見直しを行う。 ・ICT 機器の活用では、個々の実態に合わせたアプリ等の活用方法の工夫。

4 中期的目標

- 1 生徒児童が安全・安心・元気に学習や生活ができる環境整備の推進と、地域や保護者との連携。
- 2 一人一人の教育的ニーズに応じた質の高い授業により、学力の習得を図る。
- 3 地域との連携によるライフキャリア・ワークキャリア形成に向けた教育の充実を図る。
- 4 互いの個性や多様性を認め合える共生社会の実現に向け、センター的機能の充実を図る。
- 5 教職員の信頼を確立するため、専門性向上を図ると共に、働きやすい職場環境づくりの推進を図る。

5 本年度の重点目標

重点項目	重点目標
1 安全・安心な学校づくり	① 危機管理体制の整備 ② 地域と連携した安全管理 ③ 防災教育、健康教育の工夫 ④ 相談できる体制づくり ⑤ 保護者との連携
2 確かな学力の習得	⑥ 各教科における授業づくりの充実 ⑦ 国語、算数・数学における新ステップシートの活用 ⑧ ICT活用した個別最適な学びの充実 ⑨ 自立活動の指導と関連を図った各教科等の指導の充実
3 キャリア教育の推進	⑩ 社会に開かれた教育課程の取り組み（OTA ぶどうプロジェクト） ⑪ 地域と連携した系統性のあるキャリア教育の推進 ⑫ 社会人講師による地域の特色を生かした作業学習 ⑬ あいさつの励行
4 地域の特別支援教育の推進	⑭ 心のバリアフリーを目指す交流及び共同学習の工夫 ⑮ 多様なニーズに応えるための巡回相談の充実 ⑯ 地域の特別支援教育を推進する体制づくり
5 専門性の向上と働きやすさ	⑰ 教員としての専門性を高めるための研修会の充実 ⑱ 社会人としての資質能力を高める研修の充実 ⑲ 教員間でサポートしあえる体制づくり ⑳ 業務削減と休暇取得の推進